

## 第 15 回鋼構造実験見学会

「高力ワンサイドボルトを用いた柱梁接合部の大振幅載荷実験」

主催：日本建築学会中国支部

共催：日本建築構造技術者協会、協同組合広島県鉄構工業会

日時：3月16日（金）13:00～16:00

会場：広島大学 建築構造実験室（東広島市鏡山 1-4-1）

講師：田川 浩（広島大学）

定員：50名

会費：無料

対象：本会・協賛団体会員、建築技術者、大学院生、大学生

問合せ・申込先：広島大学 工学研究科建築学専攻 田川 浩 [htagawa@hiroshima-u.ac.jp](mailto:htagawa@hiroshima-u.ac.jp)

概要：

角形鋼管柱 - H 形鋼梁の接合部を、高力ワンサイドボルトを用いたスプリットティ形式とする場合、接合部剛性を確保することが重要となる。本実験見学会では、スプリットティ部材の側面に補強鋼板を溶接した高力ワンサイドボルト接合部が大振幅で繰り返し荷重を受けたときの挙動を観察する。柱部材には□-250×250×12 (BCR295)、梁部材には H-300×150×6.5×9 (SN400B)を使用する。